

周作クラブ会報

(第92号)
2023年8月31日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

- 周作忌と総会のお知らせ 1面
- 軽井沢原典の旅報告 2面
- 原稿発掘 3面
- 遠藤周作文学館便り 4面
- 周作クラブ長崎便り 5面
- 連載・樹座の30年 6面
- 会員寄稿 7面
- お知らせ欄 8面

生誕百年 周作忌

今年の周作忌は9月30日(土)に 記念シンポジウム

「遠藤周作 時代を超える文学」を開催

これまで、遠藤周作命日の9月29日に行なわれてきた周作忌が、今年は日を移し、翌日の30日(土)に行なわれます。会場は、慶應義塾大学・三田校舎内の会議室(東館6階G-Lab)です。一昨年と同じに、会場参加&リモート方式での開催です。この集いには周作クラブ会員はもちろん、どなたでも参加できますので、どうぞお誘い合わせてお出かけください。

周作忌は当初、故人とごく近い人々を中心とした「遠藤周作さんを偲ぶ会」として行われました。しかし回を重ねるごとに、「周作クラブ」会員をはじめとする遠藤文学ファンたちの参加も増え、会場も三田の「中国飯店」から、神田一ツ橋の「如水会館」へと移り、その後コロナ感染症拡大の影響もあってリモートを併用した集いへと形を変えています。

今年も生誕百年を迎える年ということもあり、記念シンポジウムを開催します。

テーマは、「遠藤周作 時代を



今年もこの会場で

超える文学。

『沈黙』や『深い河』などの作品で常に時代を先取りし、ともすると、早く来すぎた作家」と言われた遠藤周作の、世紀を越えて読み継がれてきた理由について考えたいと思います。

■登壇者

- マーク・ウィリアムズ氏(日本文学研究 者。国際基督教大学副学長)
- 青来有一氏(作家。2001年「聖水」で芥川賞、2007年「爆心」で谷崎潤一郎賞) ※リモート参加
- 栗田有起氏(作家。2002年「ハミザベス」ですばる文学賞)
- 関根謙氏(中国文学者。「三田文学」編集長)
- 加藤宗哉氏(作家・元「三田文学」編集長) ※兼司会

(記/編集部)

「2023周作忌」のご案内

生誕百年の周作忌は、左記のように東京三田の慶應義塾大学で行ないます。今年は会場参加&オンライン方式です(申込方法が例年と異なりますのでご注意ください。左記■申込方法を参照)。

日時 9月30日(土)

午後2時~4時まで(開場は15分前)

■生誕百年・周作忌 記念シンポジウム

「遠藤周作・時代を超える文学」

※登壇者は、上段参照。

会場 慶應義塾大学三田校舎内

東館6階 G-Lab

(港区三田2の15の45)

JR「田町」駅、地下鉄「三

田」赤羽橋」駅。

会費 千円(会場内は飲食禁止)

※会場参加・オンラインとも。

■申込方法

※①②③いずれも、9月15日締切。

①会員で会場参加をご希望の方

同封の「総会&周作忌」出欠ハガキでお申込みください。(※会費

千円は当日、受付でお受けいたし

ます)

②会員でオンライン参加をご希望の方

お手数ですが、出欠ハガキの返送

と同時に、左記「周作クラブ・メー

ルアドレス」へお申込みの上、周

作クラブ口座へ会費の振込を願

いします。

③会員以外の方で会場参加、あるいは

オンライン参加をご希望の方

はオンライン参加をご希望の方

いずれも「周作クラブ・メールア

ドレス」へお申し込みください。

会費は、会場参加の方は当日の会

場受付で、リモート参加の方は、左記口座へお振込みください。

なお、オンライン参加の方々は、前日までに参加のためのURLを担当からお送りいたします。

■周作クラブ・振込口座

みずほ銀行 恵比寿支店

(普) 3134431 周作クラブ

■周作クラブ・メールアドレス

Shusaku.club@yahoo.co.jp

■主催・遠藤周作忌実行委員会/三田

文学会/周作クラブ

【連絡先】世田谷区上馬4の29の17

加藤宗哉事務所内・周作クラブ

周作クラブ 第23回定時総会のお知らせ

今年の第23回周作クラブ総会を左記の通り開催します。会報に同封の返信用ハガキで、ご出欠のご返事をお願いいたします。

欠席の方は、ハガキの「委任状」の

項にご署名・捺印のうえ、9月15日ま

でのご返送ください。なお、今回の総

会へのリモート参加はできません。

日時 9月30日(土)

12時30分~13時20分

会場 慶應義塾大学三田校舎内

東館6階 G-Lab

(港区三田2の15の45)

JR「田町」駅、地下鉄「三

田」赤羽橋」駅。

議題 今年年度事業報告/同会計報

告/役員改選/来年度事業計

画/同予算計画/その他